

短歌

【小学1年生・2年生】

特選 こおろぎの歌にあわせてばんそうだ

わたしのピアノ聞こえてるかな

城南小学校2年 前田 茉帆 侶

(評) コオロギの鳴き声を歌に、自分のひくピアノをばんそうに考え、いっしょに
えんそうしているような気持ちになれたことがとても良い。また、「私のピアノ
聞こえてるかな」と問いかけているところが、この歌の良さを引き立てていま
す。

(彦根文芸協会 西山 安子)

準特選 川の中キラキラひかった魚達

そっと近づきさつとすくった

稲枝東小学校2年 有田 斗真

(評) 「キラキラひかった魚」とは、表面のうろこが光に当たって美しく光ってい
る。びつくりしないようにそっと近づきさつとすくう様子もよくわかります。
自分の感じたことと行動がむだなくよく表現できています。

(彦根文芸協会 西山 安子)

佳作 クロールのいきつきでできたうれしいな

バシャリバシャリともおよごう

城北小学校2年 中島 知音

入選 一年の体いくじゅぎょうさか上がり

はじめてできてうれしかったよ

金城小学校2年 尾本 愛理

入選 かわのうえぼうとにのってすすんだよ

じぶんでこいだはらはらしたよ

亀山小学校1年 西澤 悠杜

【小学3年生・4年生】

特 選 俺たちの熱い友情見てくれよ

コロナに負けないソーラン踊り

金城小学校4年 澤 莉雄飛

(評) 長いコロナ禍でいろいろと制限のある中でできる運動会。みんな一生懸命一丸となり練習したことでしょう。コロナに負けない熱い友情、熱い思いが伝わってきます。すばらしいソーラン踊りは見ている人たちに感動を与えたことでしょう。

(彦根文芸協会 森 典子)

特 選 友だちといっぱいおしゃべりたのしいな

時計のはりよゆっくりススメ

城南小学校3年 栗本 桜奈

(評) 友だちとおしゃべりが楽しくてもっと話していたいという作者の思いが下の句に上手く表現されていてよい歌になりました。楽しい時間はゆっくり過ぎて欲しいですね。

(彦根文芸協会 森 典子)

特 選 風ひらりこすもす畑ふわわり

白とピンクのじゅうたんみたい

稲枝東小学校3年 有田 芽唯

(評) 満開のコスモス畑にときおりやさしい秋風が吹き、茎の細いコスモスは一斉にゆれています。一面の白やピンクの花々は、まるできれいなじゅうたんのよう。情景が浮かびます。この感性を大切にこれからもよい歌を作ってください。

(彦根文芸協会 森 典子)



準特選 アップルパイ一口ぱくりパイはサクツ
味にうっとり甘みがのこる

稲枝西小学校4年 上林 眞彩

(評) アップルパイを食べているようすやおいしさが伝わってきます。思わずたべたくなりますね。リズムもよくよい歌です。これからも短歌をたくさん作ってください。

(彦根文芸協会 森 典子)

準特選 学校でマスクなしは体育の時間
みんなの顔みて十倍うれしい

平田小学校3年 佐野 碧哉

(評) お互いの表情があまり見えないマスク。体育の時間だけはみんなの本当の顔が見える。「十倍うれしい」に気持ちがよく表現されています。少し切なさも感じます。長いマスク生活が終わり、早くみんなの笑顔がみられますように。

(彦根文芸協会 森 典子)

準特選 七夕におりひめ達が出会っている
大三角形で天の川見る

佐和山小学校4年 鈴木 志歩

(評) 夏の大三角はデネブ、アルタイル(彦星)、ベガ(織り姫)で、アルタイルとベガの間に天の川が見えます。おりひめとひこぼしを思いながら天の川を見ている作者。いつそうきれいに見えたことでしょう。「大三角形」の「形」が字余りになるので、なくてもよいと思います。

(彦根文芸協会 森 典子)

準特選 はっぴを着てソーラン節をおどったよ
最後のポーズかっこよすぎる

金城小学校4年 森 一耀

(評) 運動会ではっぴを着てソーラン節。どのポーズもかっこ良かったのですが、特に最後のポーズはみんなよくまとまって「かっこよすぎる」ほどきれいにきめられたのだと思います。思い出に残る運動会、ソーラン節になりました。

(彦根文芸協会 森 典子)

佳作 運動会明日が本番がんばるぞ

トライリレーとトラキャラクターダンス

金城小学校3年 近藤 優伍

佳作 ワクワクのまちにまったたぬき作り

晴れてほしいな信楽の日に

稲枝西小学校4年 落合 凜

佳作 夜の庭窓を開けると虫の声

こおろぎ達の秋の合唱

佐和山小学校4年 土居 真歩

佳作 サッカーのしあいがかつとうれしいな

みんなでさけぶかったぞーいえーい

金城小学校3年 富田 琉生

佳作 学校でみんなでドキドキなにつくろう

しおりみなおしさあしゅっぱつだ

稲枝西小学校4年 岡田 冴可

佳作 みんなとねしているんだよお月見を

とってもきれいな友達が言う

佐和山小学校4年 保木 涼夏

佳作 ハロウィンだいろんな服そう楽しみで

家したくしてトリックオアトリート

佐和山小学校4年 池田 悠人



入選 一組は気合いで勝つぞスタートだ

勝ったらうれしい楽しいリレー

金城小学校3年 杉浦 晴

入選 秋になりどんぐり拾って遊んだら

中からゾウムシ出てきてひやり

稲枝西小学校4年 上田 朋奈

入選 ちらちらね白くて丸い冷たいの

いっぱいふって分かった雪だ

稲枝東小学校4年 田村 徠愛

入選 さいこうだゲームをやるとやめられない

勝るとかいかん心が晴れる

稲枝西小学校4年 園部 琉晟

入選 いろいろな本を読んでは休憩を

赤いもみじのしおり挟んで

城北小学校4年 霜越 芽歩

入選 暑いなかがんばっている運動会

練習だけど本番のつもり

金城小学校3年 飯干 和

入選 がんばるぞみんなの力合わせると

ゴールにっぽちかづけそうだ

金城小学校3年 高杉 采和

入選 どんぐりがきからころおちてきた

ぼうしがついたミニどんぐりだ

金城小学校3年 塚本 美鶴

入選 すずむしはリンリンないてアピールだ

夜の合奏きれいな音色

金城小学校4年 菅原 拓斗

入選 バトンパスみんなで力を合わせると

絶対勝てる自信があるよ

金城小学校4年 松原 蓮

入選 お月見をするのが楽しみ夜になれ

早く食べたいお月見団子

金城小学校4年 田井中 梨玖

入選 来週はみんなが待った信楽だ

失敗せずにしたぬきを作ろう

稲枝西小学校4年 今堀 煌河

入 選 さつまいもほかほかしてておいしいよ

そとでたべるとますますうまい

金城小学校3年 辻 琉来

入 選 さつまいもやくとほくほくおいしいな

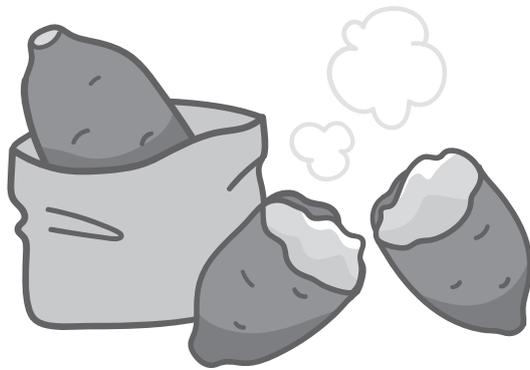
たべたらみんなこころほくほく

金城小学校3年 渡邊 藍梨

入 選 もうあきだはやくカメラでうつしたい

きれいなしぜんわくわくするな

佐和山小学校4年 大前 さくら



【小学5年生・6年生】

特 選 ありがとう僕達にくれた六年間

いずれは自分も立派になるから

城北小学校6年 若林 颯士

(評) 六年間を振り返って、先生や父母、みんなにお礼を言いたい気持ちがよく出ています。これからも立派なおとなになれるようにがんばろうとする思いが明るく前向きに表現できて、とてもよい短歌になりました。

(彦根文芸協会 河分 武士)

特 選 すがすがしい心地よい風ふいている

こんな平和が続くといいな

鳥居本小学校6年 平田 悠翔

(評) 世の中には、戦争の苦しみや新型コロナウイルスの感染など暗いニュースがたくさんあります。気候が変わりすがすがしい風が吹くと心も温かくなり、平和が続いて欲しいなと感じる自分の思いを上手に表現できました。

(彦根文芸協会 河分 武士)

準特選 おうちでは父とアラビア語しゃべってる

母はにほん語たのしいかぞく

稲枝東小学校6年 ムルデイ 郁陽

(評) アラビア語と日本語を上手に使い分けて楽しい家庭が思い浮かびます。楽しいことばかりでない困難もあるのかと思いますが、それをこくふくして暮らす楽しさを感じます。きっとやさしいご両親なのでしょう。

(彦根文芸協会 河分 武士)

準特選 ハロウインはみんなでかそうたのしみだ

なにをきるのかところがはずむ

佐和山小学校6年 原 なる実

(評) ハロウインは仮装して楽しむスコットランドなどの厄除けのお祭りです。最近では日本でも十月ごろに行われ、みんな仮装を楽しみます。何を着るのか心弾ませるようすが出ていてよい短歌になりました。

(彦根文芸協会 河分 武士)

準特選 まどあけてくるまがたくさんならんでく

オシャレなくなるまいつかのりたい

城西小学校5年 本田 彩葉

(評) 窓の外を通る車を見ていると色々な形や色をしていておもしろい。なかでもオシャレな車を見ると、自分もいつか乗ってみたいと思える気持ちがよくわかります。よいところを見つけて短歌にしたのがよかったです。

(彦根文芸協会 河分 武士)

佳作 青空にもくもくうかぶ白い雲

全部ちがって全部乗りたい

城南小学校5年 山口 夢来

佳作 彦根城季節が変わり華やかに

色とりどりに染められていく

城北小学校6年 西川 千尋

佳作 秋が来たおいしいごはんや虫の音が

聞こえてくるよい日だな

若葉小学校5年 川西 もも子

佳作 秋の夜きれいな月がかがやく日

まるで黄色いだんごのようだ

若葉小学校5年 志萱 大誠

佳作 栗ご飯サンマにアケビサツマイモ

美味しい季節食欲の秋

若葉小学校5年 上田 莉緒

入選 運動会一致団結みんなで創った

今までにない最高の思い出

佐和山小学校6年 北村 大義

入選 うんどうかいこうがいぐくしゅうおんがくかい

いろんなことがあるねあきって

佐和山小学校6年 李 心望

入選 よるのにわまつむしすむしなきだして

きりきりコオロギきれいながっしょう

佐和山小学校6年 藤原 笑麻

入選 楽しみは本を読むときたくさん

本を静かな場所で読むとき

城北小学校6年 福原 真子

入選 楽しみは放課後にみんなと一緒に

野球やサッカーをしているとき

城北小学校6年 林 篤孝

入選 夏になり高校野球が始まった

みんなが注目熱い戦い

城北小学校6年 塚田 悠太

入 選 短歌は奈良時代から行われ

今の代までうけつがれている

城北小学校6年 竹本 陽斗

入 選 たのしみは新しい本買ってきて

じぶんのへやで本をよむとき

城北小学校6年 内海 諒成

入 選 楽しみは宿題終わらせ自由時間

おやつをゆっくり食べているとき

鳥居本小学校6年 平田 楓眞

入 選 たのしみはたんじょうびのひプレゼント

いっぱいもらいわらってるとき

鳥居本小学校6年 岩噌 清奈

入 選 たのしみはにがくて甘い抹茶味

口いっぱいにはおばれるとき

鳥居本小学校6年 岩崎 杏桜

入 選 楽しみは優勝目指す運動会

友と一緒に笑いあう時

鳥居本小学校6年 畑 実里

入 選 楽しみは涼しい夜にキラキラな

空いっぱい星座見るとき

鳥居本小学校6年 小山 真生

入 選 たのしみはおうちにかえててあらいし

しゅくだいおわってゲームをするとき

鳥居本小学校6年 鎌田 晃佑



【中学生】

特 選 京都にて目にうつる町和の風情
歴史を感じ落ちつく心

南中学校2年 岩 噌 悠生

(評) 京都に来て、見たことのない風景や寺院などに感動したのでしょう。印象を短い言葉で、「和の風情」「歴史」とまとめ、また結句によって「落ち着く心」と要点をきちんと言い切っているのがとてもよかったです。

(彦根文芸協会 河分 武士)

特 選 片思いドキドキ高なる私の音
誰にも言わぬ私のひみつ

彦根中学校 匿 名

(評) 二度とない青春の秘めた心の中を思い切って短歌にしたのは素晴らしい。相手の人は気づかないかも知れないが、自分では言い出せない作者はとても清らかで美しい。これからの宝物として大切に育んでほしい。

(彦根文芸協会 河分 武士)

特 選 清水の舞台からみる京の街
京都タワーはマツチの如く

南中学校2年 洞 田 望 宙

(評) 清水の舞台に立って、しみじみと京都の雰囲気味わったのでしょう。雄大な景色の向うに先程見てきた京都タワーがマツチ棒のように、読者にも見えるようです。この短歌は京都へ行ったよのお土産になりましたね。

(彦根文芸協会 河分 武士)



準特選

木の下に死にかけている落ちたセミ
セミで感じる夏の終わりを

彦根中学校2年 吉川 耀太

(評)

あれほどに鳴いていたセミが地に落ちて息絶えようとしているのを見つけ、季節の変わり目をよく感じたんですね。この短歌は夏の思い出や、これから秋になる色々なことを感じさせます。

(彦根文芸協会 河分 武士)

準特選

先輩と悔しい思いを噛み締める
夏季総体後の帰りの列車

稲枝中学校2年 戸松 真生

(評)

夏の総体を目指して日頃から一生懸命頑張ってきたのに、結果を出せなかった悔しさがよく出ています。先輩の最後の大会か、後を引き継ぐ後輩の思いを帰りの車内で語ったのでしょうか。要点がまとまったよい歌です。

(彦根文芸協会 河分 武士)

準特選

京都にておみやげさがし家族らの
喜ぶ顔が見たくて悩む

南中学校2年 佐々木 遥香

(評)

京都に来ていっぱい見た、その後は、おみやげが大事。家族に何を買って帰ろうか。喜んでもらえるようにと迷う様子がよく解かります。「喜ぶ顔が見たくて悩む」はその気持ちが出ていて、とてもよいと思います。

(彦根文芸協会 河分 武士)

準特選

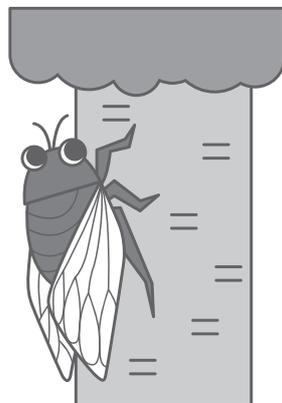
勉強をしようとするけれど
なかなか押せないやる気スイッチ

鳥居本中学校2年 岩崎 来羽

(評)

勉強しなければと思ってもなかなか体が動かない、そんな気持ちがよく解かります。それでも明るく「なかなか押せないやる気スイッチ」とユーモアを交えた発想が歌としてとても面白くてよかったです。

(彦根文芸協会 河分 武士)



佳 作 暑い日に汗流しながら出る部活

やる気に満ちた夏の思い出

稲枝中学校2年 田中 幸乃

佳 作 親友としやべりあった帰り道

これも一つの大事な思い出

鳥居本中学校1年 小崎 愛音

佳 作 この命永遠はないだからこそ

この一時を大事にしよう

彦根中学校2年 田中 琴華

佳 作 あじさいの色とりどりで安らぎが

舞い降りてきた心の中に

彦根中学校2年 馬場 佑月

佳 作 京都での時間がせまる清水で

カメラに一枚思い出さざむ

南中学校2年 木本 楓乃

佳 作 楽しかったフィールドワークまばたきしたら

バスの中またいききたいな

南中学校2年 田中 煌大

佳 作 長距離走負けてしまった次こそは

気あいではない実力で勝つ

南中学校2年 島津 旺芽



入選 友達と部活をやり遂げ満足だ

部活をとおし仲良くなる夏

稲枝中学校2年 野田 結愛

入選 安かった旬の食べ物高くなる

食欲の秋どこへ行くのだ

稲枝中学校2年 高橋 咲良

入選 暑い夏汗水流す部活動

仲間とともに頑張る毎日

稲枝中学校2年 田中 聖菜

入選 はだぎむい稲穂の道を走り抜け

待っていたのは家族のぬくもり

稲枝中学校2年 中川 紗世

入選 友達と一緒に話すこの時間

幸せだなと感じるひと時

鳥居本中学校1年 土田 瑚珀

入選 テスト前分かっているけど動かない

私の手は今反抗期かな

鳥居本中学校2年 後藤 咲良

入選 あいさつは大きな声ではきはきと

気持ちよこめてしっかりつたえる

彦根中学校2年 伊藤 柚衣

入選 夏の日のいとことともに見た動画

一つの椅子をとりあった日よ

彦根中学校2年 土井 翔夢

入選 わからないはじめての町こまっちゃう

優しすぎたよバスガイドさん

南中学校2年 林 愛結来

入選 またいつか感じる時が来るかもな

古都吹く風と京都の優しさ

南中学校2年 田中 心実

入選 赤色の平安神宮美しく

かがやいていた大きなとりい

南中学校2年 八木 星来

入選 水族館色んな魚およいでる

自分も中でおよいでみたい

南中学校2年 林 尚桜

入 選 清水の舞台から見る絶景は

目に焼きつけるほど良い景色

南中学校2年 小山 博史

入 選 おみやげ店悩み続けるプレゼント

家族の笑顔思い浮かべて

南中学校2年 大橋 実生

入 選 おもいでにタイムスリップアルバムで

ひさしぶりだねむかしのわたし

南中学校2年 中清水 初奈

入 選 山登り父の背中についていき

てっぺんついたら絶景を見る

鳥居本中学校2年 小山 里乃香



【総評】

コロナ禍が続く中でも、皆さんには元気に去年より多くの作品を出していただき、うれしく拝見いたしました。

小学生は、一・二年生の応募者が昨年より増え、三・四年生は大きく増え、五・六年生は半分以下に減りました。先生や家族の皆さんの影響があるのかと感じます。

子どもらしい視点から、夏休みの体験や学校のこと、友だち、家族のこと、自分の「見たこと」「感じたこと」「楽しかったこと」「頑張ったこと」など、良い短歌がたくさんありました。

中学生は、昨年に比べて応募者と作品が増えたのは嬉しく思いました。基本に忠実で、よくまとまっている短歌が多くありました。中でも、五七五七七のリズムやストーリーがしっかりしている短歌に引き付けられました。

季節、部活、家族のことなど視点を考えた良い歌が多くあり、中でも今回多かった「旅の感想」の作品は楽しく読ませていただきました。今後は更に多数の皆さんの参加による良い作品を期待しております。

短歌を作るのに大切なことは、

- ① 以前に入賞となった作品、新聞や本に書いてあるような良い短歌を多くたくさん読むこと。
- ② 「何を詠うのか」先ず「テーマ」を考えよう。
- ③ 五七五七七のリズムを大切に。(最後の七が五にならないように)
- ④ 多くの作品を作って、その中から「これ」と思う自信のある短歌を選んで出す。

短歌は、昔から脈々と引き継がれて来た長い歴史があります。大人になっても続けられるように大切にしてください。

(彦根文芸協会 河分 武士)

